

令和5年1月16日発行
指宿市農業委員会

新年のごあいさつ

指宿市農業委員会
会長 蓑田 六雄

2023年の新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、農業委員会活動に対し、平素より格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、昨年、全国で大雨や台風による自然災害が発生し、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、ウクライナ危機や急激な円安進行により、生産資材価格等が高騰、本県においては、追い打ちをかけるように鳥インフルエンザが相次いで発生するなど、農業関係者にとって大変厳しい一年となりました。

その一方で、新型コロナウイルス感染症が少しずつ落ち着きを見せ始めた年でもありました。10月には第12回全国和牛能力共進会が霧島市と南九州市で盛大に開催され、本県が全9部門のうち6部門で一席を獲得するなど、明るい話題もありました。

さらに、本年は、いよいよ「燃ゆる感動 かごしま国体・かごしま大会」が開催されます。全国各地から多くの選手・関係者の皆様をお迎えするこの機会に、おもてなしを通じて、指宿の農畜産物のPRへと繋がることを期待されます。

本市農業委員会は、農業委員19名、農地利用最適化推進委員19名の計38名で、農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増加など、地域農業が抱える課題を背景に、“担い手への農地の集積・集約化”、“遊休農地の発生防止・解消”、“新規参入の促進”の3点を重要事項として、「農地利用の最適化」を目指し、日々活動に取り組んでおります。また、昨年5月、改正農業経営基盤強化促進法が成立し、これまで推進して参りました「人・農地プラン」は、本年4月から「地域計画」として生まれ変わります。この改正により、今後はこれまでのプランの実質化と併せて、10年後に目指す農地利用の「目標地図」の作成が必要となります。

具体的な活動といたしましては、各地域における農地の保有・利用状況を把握し、情報共有を図るための話し合い活動に取り組むこととなりますが、農業委員会は話し合いのコーディネーター役となり、地域の中で「目標地図」作成のため合意形成が図られるよう、進めていかなければなりません。本市の農地と元気な農業を未来に繋ぐため、農業委員会に求められている役割をしっかりと果たすべく、委員一丸となって、本年も鋭意取り組んで参る所存です。

また、農業委員会は農地を守るだけでなく、地域の良き相談役として、農業者の皆様とともに農業農村の発展を考え、努めて参りますので、今後とも引き続き農業委員会活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

『南薩地域農業委員等研修会』に参加

令和4年11月30日（水）南さつま市民会館において、南薩4市（南さつま市、枕崎市、南九州市、指宿市）の農業委員・農地利用最適化推進委員・職員等、約140人が集い、「南薩地域農業委員等研修会」が開催されました。

研修会では、今後予定している関連法の改正とあわせて、農業委員会を巡る情勢や農地利用最適化活動の実践について県農業会議から説明があり、参加者の皆さんは真剣に聞き入っていました。



農業委員 永年勤続表彰



西山 昭二 委員

同日、同研修会において、永年勤続表彰が行われました。表彰されたのは、南薩地域において、これまで長きにわたり委員又は職員として地域農業振興に貢献された方々です。

本市においては、西山昭二農業委員（小川地区）が受賞されました。西山委員はこれまで10年5か月農業委員・農地利用最適化推進委員として、担い手農家への農地の利用集積や遊休農地の解消等に尽力されています。

今後のさらなる活躍に期待します！



農用地あっせん情報

令和4年11月25日委員会承認

所在	地目		面積(m ²)	希望内容
	登記	現況		
池田字清水	畑	畑	592	売渡
池田字上野	畑	畑	406	売渡
池田字牧迫	畑	畑	962	売渡
池田字高田	畑	畑	1,116	売渡
池田字堂ノ下	田	田	535	売渡
山川大山字南平	畑	畑	1,230	売渡
西方字足洗山	畑	畑	517	貸付
西方字足洗山	畑	畑	707	貸付
十二町字建原	畑	畑	376	貸付

※詳しくは、お近くの農業委員、農地利用最適化推進委員又は農業委員会事務局へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 農業委員会事務局 TEL 22-2111
(内線721, 722, 723)